

令和3年度 ICT教育パイロット校 概要

学びの改革支援課

目的

- 長野県におけるICTを活用した学びのあり方を研究し、その成果を発信して、他校を牽引する。
- ・ ICTの活用による知識習得の個別化や生徒の特性・学習進度に合わせた学びの最適化として「個別最適な学び」
 - ・ 教科横断的なプロジェクト型学習に他者と協働して探究的に取り組む「協働的な学び」



ICT教育パイロット校8校程度

取組例

個別最適な学び

経産省「未来の教室」での実践において、1人1台タブレットを整備し、EdTech教材「すららネット」等を活用した個別最適な学びを進めることで、生徒の学習時間が増加し、基礎学力が向上して、個々の学力の保障につながる結果が得られた。

このように、EdTech教材（すらら、Qubena、スタディ・サプリ 等）を活用し、生徒個々が自分のペースで学び、知識・技能を獲得していく学びのあり方を研究

協働的な学び

教科学習やプロジェクト型学習において、授業支援アプリ（ロイロノート、スクールタクト等）を活用し、クラウドを介して課題のやりとりや共有、プロジェクトの共同編集等による探究学習のあり方を研究

教科「情報」のプログラミング教育

R4より「情報」で必須となる「プログラミング」において、EdTech教材（ライフイズテック、アシアル等）の活用法を研究

デジタル教科書活用

数年後には活用が本格化するとと思われるデジタル教科書について活用法を研究

様々な事情をもつ生徒への学習支援

通学困難者（不登校等）の学びの保障として、オンラインやオンデマンドによる授業提供、課題の提出・確認や評価、単位認定等について研究

（「ICTパイロット校」の取組例は、この限りではありません。また、これらを組み合わせた取組も考えられます）



ICT教育パイロット校への応援メニュー

人的リソースの提供

GIGAスクールサポーターの重点派遣

- ・パイロット校年間28日派遣
- ※その他の学校8日派遣

ソフトの提供

EdTech教材等のソフトやデジタル教科書の購入支援

- ・ソフト等の購入費全額負担
- ※予算に限りがあり応募多数の場合調整すること有り

知見の提供

アドバイザーからICT活用教育推進支援

- ・有識者からのアドバイスをオンラインで実施
- 謝金を支援

※「長野県ICT教育推進センター」の担当指導主事も、要請に応じて学校を訪問して支援

指定期間 情報発信 応募方法

- **ICT教育パイロット校指定**：原則単年度指定、申込は学年単位以上
- **全県へ拡充のための発信**：県教委発行ICT教育通信、フォーラム等における実践発表 等
- **問い合わせ、応募方法**：県教委担当者へ連絡、応募用紙をメール送付（申込期間 2/1～2/28）